

第 4 6 回幹事会議事要旨

日 時 平成19年11月22日（木） 14：00～16：00

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 （会長） 金澤 一郎

（副会長） 鈴木興太郎、土居 範久

（第一部） 広渡 清吾、佐藤 学、江原由美子、小林 良彰

（第二部） 鷲谷いづみ、山本 雅

（第三部） 小林 敏雄、河野 長、大垣眞一郎

（事務局長） 谷口 隆司

（事務局次長） 綱木 雅敏

（課長） 佐藤 憲

（参事官等） 廣田 英樹、信濃 正範、村田 啓子、木方 幸久

審議事項等

1 非公開審議事項について審議が行われた。

2 諸報告事項として

(1) IAC が取りまとめた報告書「持続可能なエネルギー：未来への指針－”

Lighting the Way :Toward a Sustainable Energy Future"」に関する会長コメントを発出したことについて、金澤会長から報告があった。

(2) 学術とジェンダー委員会の対外報告「提言：ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来」のインパクト・レポートについて、江原委員長から説明があった。

3 審議事項について審議が行われた。

(1) 対外報告「わが国食料生産における資源循環型畜産技術の開発と地域活性化」について、畜産学分科会入江正和幹事から説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 対外報告「渇水対策・沙漠化防止に向けた人工降雨法の推進」について、農業生産環境工学分科会真木太一委員長から説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することになった。

(3) 日本学術会議会則の一部を改正する規則案について「意思の表出」として「提言」を追加することが承認された。

(4) 外国人会友（仮称）制度検討委員会設置要綱案について承認された。

(5) その他提案事項についても提案どおり承認された。

4 その他事項として

(1) 今後の分科会等の運営について事務局から説明があり、今後検討を進めていくこととなった。

(2) サイエンスカフェに関する今後の対応について事務局から説明があり、今後、会員及び連携会員がサイエンスカフェを主催、共催される際の対応についての方針が示された。

日 時 平成19年11月22日(木) 14:00～

議 題

I 非公開議事項

1 委員会関係

- 提案1 選考委員会における分科会及び小分科会の設置及び委員の決定
- 提案2 科学者委員会運営要綱の一部改正及び分科会の委員の決定
- 提案3 国際委員会における分科会の委員の決定
- 提案4 分野別委員会における分科会、小委員会の設置及び委員の決定
- 提案5 「地球温暖化等、人間活動に起因する環境問題に関する検討委員会」の設置要綱の一部改正及び委員の決定
- 提案6 「水・食糧と持続可能な社会委員会」の設置要綱の一部改正及び委員の決定

II 前回幹事会以降の諸報告

III 審議事項

1 対外報告

- 提案7 「わが国食料生産における資源循環型畜産技術の開発と地域活性化」
- 提案8 「渇水対策・沙漠化防止に向けた人工降雨法の推進」

2 規則等の改正

- 提案9 日本学術会議会則の一部を改正する規則案
- 提案10 外国人会友(仮称)制度検討委員会設置要綱案

3 団体の指定

- 提案11 日本学術会議協力学術研究団体の指定
- 提案12 学術刊行物の審査

4 国際会議関係

- 提案13 平成19年度代表派遣(12～3月)

5 シンポジウム等

- 提案14 「東南アジアの民主主義と信頼」(シンポジウム)
- 提案15 「新しい環境共生都市像を求めてー生命の多様性をも守り続ける新しい都市づくりー」(シンポジウム)
- 提案16 「天文学・宇宙物理学の展望ー長期計画の策定に向けてー」(シンポジウム)
- 提案17 「科学技術リテラシー向上へのチャレンジャー学校と社会の新しい連携ー」
(シンポジウム)
- 提案18 「21世紀、科学とどう向き合っていくか(仮題)」(シンポジウム)
- 提案19 日本学術会議九州・沖縄地区会議公開学術講演会
- 提案20 「鉱物資源の持続可能性と資源問題への展望」(日本学術会議主催公開講演会)
- 提案21 「ゲノムから心まで:心の先端研究拠点への展望」(シンポジウム)
- 提案22 「宇宙と生命、そして人間を考えるー人類の未来のために」
(日本学術会議主催公開講演会)
- 提案23 「自然共生型流域圏の構築と都市・地域環境の再生に向けて」(シンポジウム)

6 後援

- 提案24 国内会議

IV その他